

農業保存食料品製造業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	13~14	作業場にて、冷凍わさびの茎が入った袋を樹脂製ハンマーで叩きほぐす作業中、右手首に痛みを感じた。特に報告することもなくその後も作業を続けた。帰宅後右手首が腫れ上がった。	46	10 ~ 29
3	10~11	原料処理ドームにて、コーンカッターの刃を砥ぐ機械の整備が終わり、3名で移動させようと3方に分かれ持ち上げようとしたところ、腰に激痛がはしり、腰椎圧迫骨折を負った。	62	50 ~ 99
3	9~10	重石を2つ持ちあげた際に腰に違和感があった。その翌日、約20kgの塩袋を持ち上げて小樽に移そうとした際、再度痛みが出た。	37	50 ~ 99
3	9~10	被災者は漬け物工場で、加工した製品の入ったプラスチック製の籠（重さ40kg~50kg）を台車にのせようとし、床から持ち上げた際に腰部に激痛が生じた。	29	1~ 9
6	14~15	Aラインのスライサー後ろのコンベアーのコードに腕が絡まった状態で反転した為、腕を痛めてしまった。	40	100 ~ 299
7	17~18	当社工場内において、作業終了後に工場内を移動していたところ右太ももに強い痛みを感じた。日頃の作業内容は、漬物製品の日付確認、異物検査、梱包、台車へ積む作業（重量は最大で10kg程度）などで、重量物を扱う作業を行っており、その蓄積から痛みが出たものと思われる。太ももに痛みを感じていたが、疲労からくるものと思い、病院にはかかっていなかった。勤務をしたが痛みが続いた。	21	50 ~ 99
		工場の中から外に出る時、中から50cmの高さから外にジャンプしたさい、下の鉄		50

9	8~9	板の端に足をついた所、足半分が鉄板の端にのってしまいそのままひねって転んだ。	42	~ 99
12	10~11	工場で箱詰出荷の作業中に、15kg程の荷物を持ちあげ、梱包用バンド機に移動させる際、ぎっくり腰になった。	33	50 ~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html